

夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価方法等について

1 目的、評価の方法

総合戦略で掲げる基本目標の実現に向けた取組を客観的に検証するため、基本目標に数値目標を設定するとともに、具体的な施策については、重要業績評価指標（K P I）を設定している。

基本目標の実現に向けては、数値目標、重要業績評価指標（K P I）に対する現状値を把握し、施策の実施状況の検証を行い、改善を図り、次の取組につなげる。また、必要に応じて、総合戦略の見直しを行う。このようなP D C Aサイクルにより、進行管理を行う。

2 評価の体制、手法

(1) 庁内

① 手法

- ・基本目標、基本的方向を受けて掲げた、3 5の具体的施策ごとに、K P Iを把握し、実施状況を検証する。
- ・基本目標の数値指標に対する現状値を把握し、具体的施策の検証を踏まえ、基本目標の進捗状況を検証する。
- ・地方創生関連交付金活用事業のK P Iを把握するとともに、実施状況を検証する。
- ・有識者会議の意見を受け、総合戦略の基本目標・具体的施策、地方創生関連交付金の対応を示す。

② 評価・検証会議

夢・未来 たからづか創生本部及びその下部組織である夢・未来 たからづか創生総合戦略庁内検討会

(2) 外部

① 体制

夢・未来 たからづか創生総合戦略有識者会議（委員9名）

② 会議の運営

内部で作成した評価シートを基に、意見、助言を受ける。令和元年度の有識者会議における対象は下記のとおり。

ア 総合戦略 基本目標1 子どもと子育てにやさしい「まち」

イ 地方創生推進交付金採択事業

(ア) 地域資源を生かした活力あるまち

(イ) 文化芸術を核とした戦略的なプロモーションによる移住・定住・交流促

(ウ) エイジフレンドリーシティの創造

③ 評価シートへの反映

聴取した意見、助言をとりまとめ、評価シートの外部有識者意見欄に記載する。

3 公表等

作成した評価シートを市ホームページにて公表する。